

農林水産省における施策について

農 林 水 産 省

【農林水産省】 農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究 「健康寿命延伸に向けた食品・食生活実現プロジェクト」

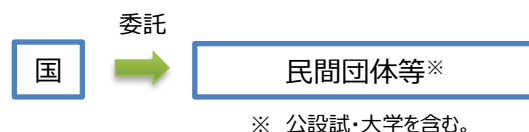
研究期間：令和3年度～令和7年度
令和7年度予算：47（52）百万円

- 【現状・課題】新型コロナウイルス感染症の流行拡大から、免疫機能の維持・向上や健康に良い食への関心が高まっている中で、**免疫機能等への効果が期待される日本の農産物等に関するエビデンス取得及び食生活の適正化に資する技術開発**を目指します。
- 【今後の取組】農産物等の免疫機能等への効果に関するエビデンス取得及び食生活の適正化に資する技術開発（計3点以上）[令和7年度まで]

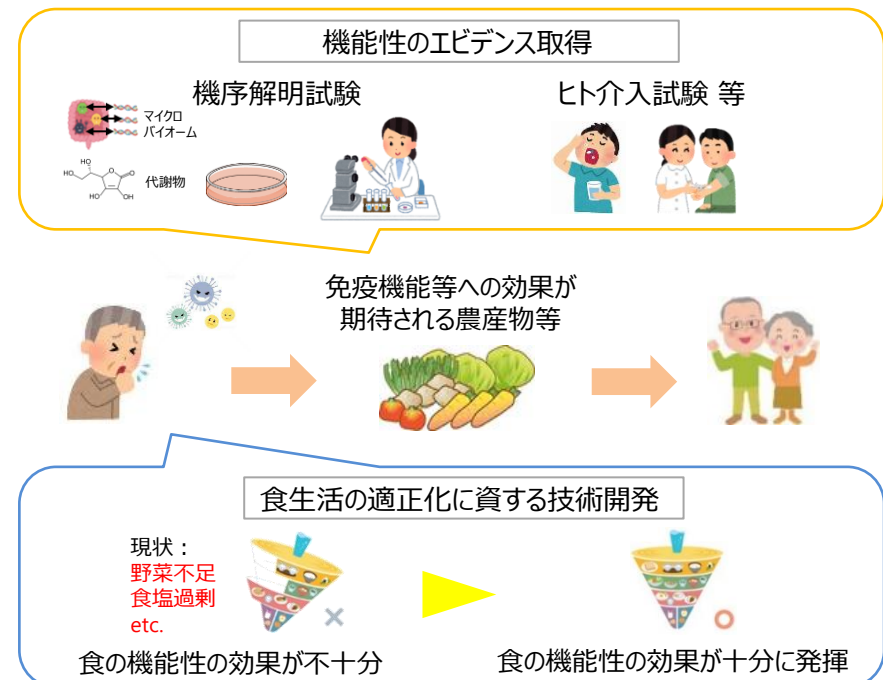
＜事業の内容＞

- 日本の農産物等の**免疫機能等への効果**をヒト介入試験等により検証し、エビデンスの取得を目指します。
- 食の機能性が十分に発揮されるためには、**バランスの良い食事**が基本となることから、**食生活の適正化**に資する技術開発を行います。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究統括官室（03-3502-2549）

- 【現状・課題】2023 年度に、個々人に体調、嗜好、習慣等に応じた最適な栄養バランスのメニューを提案する「豊かな食設計システム」の開発を開始した（内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」サブ課題D「国産大豆等を利用した豊かな食設計システムの開発」）。
- 【今後の取組】同システムの開発を継続するとともに、具体的なサービスの実現に向けて国内関連産業との対話等を推進する。

< 事業の内容 >

○食によるWell-beingが実感できる社会の実現を目指し、若者等をターゲットとして日常の食生活に気づきを与え、個々人の体調、嗜好、習慣等に応じた最適な食事メニューの設計システムを構築する。

○当該システムの公開により、様々なサービサーを育成するとともに、余暇、美容、エンターテイメントなどの異分野サービスとの融合を通じ、食によるWell-being が実感できる社会の実現を目指す。

< 事業イメージ >

- 1 により、企業は個人の体調に適した食品・サービスの開発、自治体は住民の健康改善施策を発表している
- 2 により、食生活上問題を抱える比率の高い集団の食習慣の改善に寄与するビジネスモデル（3以上、各10万人以上利用）を創出

SIPとして取組む研究テーマ

社会課題解決の**多様なニーズの把握**

- ・ 青年期女性の痩せ改善、フレイル予防
- ・ 中年期の方の生活習慣病改善 等

民間企業による“食設計システム”の利用と行動変容の流れ（イメージ紹介）

“食設計システム”を使い、民間企業が独自サービスを展開
例えば、**肌状態改善と食事提案での利用イメージ**

